

# 地域おこし協力隊を活用した事業の例示

| 事業例                               | ポイント  |
|-----------------------------------|---|
| 地域ブランドや地場産品の開発・販売                 | ただの販路拡大や生産量の向上のみではなく、新たな付加価値や魅力を付けた商品の開発による地域ブランドの確立など、地域への貢献策(影響)の説明が必要となります。    |
| 体験イベントなどのコンテンツづくりによる滞在型観光商品の企画・販売 | イベント企画のためのアイデアや地域の事業者との連携が必要となることから、最大3年間及びその後の活動について、具体的な案や地域の事業者との提携方法を示してください。 |
| 一次産業(農業、水産業、畜産業など)                | 単純な労働力になることのないように、当該事業が地域の活性化につながる理由とその実現に向けた具体的な方策を示してください。                      |
| 空き家相談窓口の運営および移住希望者と所有者のマッチング      | マッチング手法や空き家情報の収集手順を示すとともに、隊員の任期終了後も事業継続できる仕組みづくりが必要となります。                         |
| 移住希望者を対象としたオーダーメイドの移住体験ツアーの運営     | 移住希望者の募集方法や移住者の滞在先の確保など、運営に関して具体的な事業内容を示してください。                                   |
| 空き店舗活用など商店街活性化                    | 当該事業が地域の課題解決につながるために、有効活用できるようなアイデアが必要となります。                                      |